

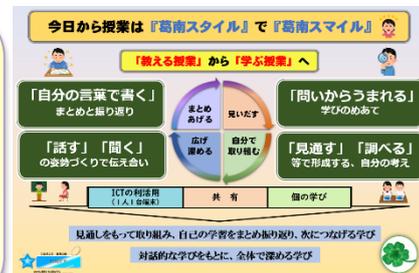
ユニバーサルデザインの視点を踏まえた「学びやすさ」の構築 学校全体で取り組もう

【指導室 特別支援教育班】



学校を訪問すると、黒板周りがすっきりとし、黒板からの情報を得やすくしている学校が多く見られるようになりました。ユニバーサルデザインの考え方が浸透してきていることを感じます。

今回は、過去に葛南教育事務所だよりで掲載してきたユニバーサルデザインの視点を踏まえた環境づくりと分かりやすい授業づくり（『学びやすさ』の構築）を「葛南スタイル」に沿って再確認したいと思います。現状を把握し、前期後期のスパンでできるところから取り組んでいきましょう。



「学びやすさ」の状況づくり

現状	前	後	「学びやすさ」に基づくユニバーサルデザインの視点
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	授業に必要なものを（視覚的に）伝え、自分で準備できる状況づくりをしている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	机上に不要なものが置かれていない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	黒板、黒板周りのはすっきりし、黒板からの情報を得やすくしている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	視界に入る棚や壁がすっきりし、教師や黒板に集中しやすくなっている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	特別な教育的支援を要する子の特性を考慮した、座席の位置になっている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	机と椅子の高さは一人一人に合っている（両足裏全体が床に着く。足首、腰、股関節が90度の姿勢）



「問いからうまれる」学びのめあて

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	教師の話し方は早口でなく、抑揚をつけて、端的に内容を伝えている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	一指示一動作で伝えている。



1つ目は～をします。
2つ目は～をします。

「見通す」「調べる」等で形成する、自分の考え

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	具体的な指示やイラストで、理解できるような工夫をしている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	学習のルールや約束は、見て確認できるよう視覚化している。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「めあて」や「ポイント」などが分かりやすいように、板書ルールが全ての授業で統一されている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	板書の文字は後ろの席からも見やすく、行間は詰めすぎでない。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	見にくい緑色のチョークは極力避け、基本的に白や黄色など、見やすい色のチョークを使用している。

「話す」「聞く」の姿勢づくりで伝え合い

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	グループ活動の人数は適切で、話しやすい机の配置になっている（3～4人程度）。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	グループ活動では、役割分担があるなど、全員が参加できる工夫がされている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	グループの話し合いでの聞く姿勢のルールは明確になっている（相手に体を向ける。黙って聞く等）。

「自分の言葉で書く」まとめと振り返り

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	活動の区切りでは、全員の子どもの様子を確認してから、次に進んでいる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	個に応じた課題準備と評価を行っている。

Point!

上記の内容は、一律に行えばよいというものではありません。子ども一人一人の様子や、学級の雰囲気に応じて、必要性を実感しながら検討していきましょう。大切なことは、どの子にも「学びやすさ」が提供されているかという視点をもつことです。

「インクルCOMPASS」をご活用ください

★学校や園の特別支援教育の現状と課題に対する取組状況を確認するうえで、「インクルCOMPASS」が活用できます。「インクルCOMPASS」は、国立特別支援教育総合研究所が作成した、インクルーシブ教育システム構築の現状や課題を把握し、次の取組につなげるための手がかりを得ることを目指したツールです。現状を振り返ることで、自校（自園）の強みや課題を確認することができるものとされています。

★「インクルCOMPASS」の観点とチェック項目の例

1. 体制整備	<ul style="list-style-type: none">・園・校内支援に係る体制整備・周囲の幼児児童生徒及び保護者の理解促進 など
2. 施設・設備	<ul style="list-style-type: none">・バリアフリー施設・設備の整備・教育支援機器の整備 など
3. 教育課程	<ul style="list-style-type: none">・特別の教育課程の編成・特別の教育課程の実施
4. 指導体制	<ul style="list-style-type: none">・指導体制の整備・充実・地域の関係機関の連携 など
5. 交流及び共同学習	<ul style="list-style-type: none">・交流及び共同学習の実施のための具体的な取組・障害のある人との交流と理解・啓発
6. 移行支援	<ul style="list-style-type: none">・就労支援システムづくり・就労支援システムづくり
7. 研修	<ul style="list-style-type: none">・園・校内における専門性の向上のための取組・園・校外研修を活用した理解・専門性の向上 など

★「インクルCOMPASS」の入手先

以下の URL や QR コード、Web 検索からページにアクセスすると、無料でダウンロードできます。

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システムチーム

https://www.nise.go.jp/nc/study/others/disability_list/inclusive

